

令和4年度鹿児島港中央港区開発推進協議会総会議事録

1 開催日時及び場所

(日時) 令和4年10月6日(木) 13:30~14:00

(場所) 鹿児島木材産業協同組合 事務所2階会議室

2 会員数及び出席者数

- ・ 会員数100人 (鹿児島市三号用地振興協議会41人、鹿児島機械金属工業団地協同組合12人、鹿児島木材産業協同組合23人、その他24人)
- ・ 出席者数57人
- ・ 報道機関2名
- ・

3 議事の内容

- ・ 定刻に至り、事務局担当者が開会を宣する。
- ・ 柴立会長より開会のあいさつがなされた。
- ・ 関係行政機関の来賓あいさつが行われた。
国土交通省鹿児島港湾・空港整備事務所 溝江 所長
鹿児島市都市計画部都市計画課 大江 主幹
- ・ 議長については、規約により会長が行うこととなっていることから、柴立会長が議長席につき議事の審議に入る。
- ・ 第1号議題令和3年度事業実績及び第2号議案令和4年度事業計画について議長が説明を求めたので、事務局員は別紙資料により説明を行い、了承された。
- ・ その他について
中央港区の整備にかかる市議会及び県議会の主な議論について事務局員から説明がなされた。
以上で総会での審議を終了したので議長より閉会を宣した。

総会終了後、以下の講演会及びが開催され、多くの会員が参加されました。

◎ 講演会 「鹿児島港中央港区の計画と現状について」

14:00 ~ 14:55

講師 鹿児島県港湾空港課 佐多 港湾対策監

鹿児島港の概要、臨港道路(鴨池中央港区線)の整備、クルーズ船の受入環境整備、旧木材港区の埋立、最近の話題等について、スライドと資料を用いて判りやすく講演していただきました。

◎ 質疑応答・要望等要旨 14:55~15:10

(Q1) 現在木材港を埋め立てているが、いつから利用が可能か。イベント等で使用したい。

(A) 埋立の進捗状況次第であり、現時点では不明。鹿児島地域振興局が窓口なので問い合わせてほしい。

(Q2) 木材港の埋立土砂は東西道路や国道10号線バイパス工事等の公共残土を使用するとの説明であったが、埋立が完了するのはこれらの工事の完了時期と同じと考えてよいか。そうなると埋立が完了するのはかなり先になるのではないか。

(A) お示した工事箇所は残土の発生が見込まれる箇所であり、埋立と当該工事の完了時期は関係ない。

(Q3) 臨港道路の橋梁の高さは海面から10m程度と聞いているが、そうなると資材運搬船の出入りはできなくなる。南港の利活用はどうなるのか。

(A) 小型船だまりとして利用したい。

(Q4) 桜島フェリーや鴨池フェリーを常時使えるようにできないか。

桜島が噴火した時の避難港として利用できるし、また、クルーズ船のお客さんをバスごと移動できることから大隅半島の活性化にもつながるのではないか。

(A) フェリーは車を運ぶことから、大きな可動橋が必要となり、現実的には難しい。